

ちょうふ市民討議会 2012 第12回実行委員会議事録

日時 2012年10月2日(火) 19:30より
場所 調布市文化会館たづくり 11階1102習室

出席者 【実行委員】(敬称略)

阿部正幸(○) 榎本陽介(×) K. O(×) 梶原良介(×) A. K(○)
小峯充史(○) 小山晃一郎(×) 齋藤孝(×) 竹内一(×) 田中八栄子(×)
谷口淳(▲) 長谷川正(▲) 原島秀一(○) 平松明(×) 廣瀬豊(×)
増田健治(○) 宮澤学(×) 若松正晴(×) 和田勝幸(×) 安藤貴弘(○)

出席6名、遅刻等2名、欠席12名 計20名

出席者 【特別出席者・傍聴者】

—

【配布資料】 議事次第、備品リスト、第1～3討議会の流れ、当日スケジュール
※その他各種資料は、お手数ですがメールリストで各自確認願います。

1. 実行委員長挨拶 原島実行委員長
2. 出席者確認・特別出席者・傍聴者の紹介
・上記の通り。
3. 資料の確認・書記任命 書記：増田運営副専務

4. 議題：

- ① 前回議事の確認 原島実行委員長
- ・メーリングリスト上で回覧された議事録の通り。
 - ・参加者ガイドブックに関しては前回実行委員会の通り、スタッフ一任の上メーリングリストにて配信、10月4日発送予定の参加決定通知書に同封予定。
 - ・第二討議会でパネルディスカッションという話がでたが、本日は第一討議会と第二討議会のつながりを先に確定。
- ② 参加者応募状況について 原島実行委員長、安藤運営専務
- ・今日現在84名の応募有。
 - ・10月4日に抽選を行い、当日キャンセルを見込んで50名の方に参加決定通知書を発送する。
 - ・その他、メールでの申し込みや電話での問い合わせ等もあった。
- ③ 第1討議会テーマ2情報提供について 原島実行委員長
- ・資料「第1～第3討議会の流れ」の説明。
 - ・阿部さんより、第一討議会ではほぼ同じテーマで2回まとめをやるのであれば、テーマ①をワールドカフェ方式にしたほうがいいのか、という意見を頂いている。

●ワールドカフェ方式の採用について

阿部) ほぼ同じテーマでまとめを2回やると、ディスカッション①でまとめたものはどこにいったのかと参加者が戸惑うのでは。

なので、ディスカッション①はワールドカフェ方式でアイデアを膨らましてもらい、テーブル内のみでの発表に留め、ディスカッション②でまとめるといいのではないかと。

この場合、色々な情報を共有してもらい、自分の考えを作り上げてもらうのがディスカッション①の目的になる。

A.K) ホストとファシリテーターの違いは？

小峯) ホストは参加者が担当し、テーブルの流れを新しい参加者に説明する役。ファシリテーターは実行委員が担当し、プレストが上手く進むよう補助する係。

谷口) どのテーブルも全部同じ意見になってしまわないか。

小峯) ディスカッション①では2回しか席替えを予定していないので、全てのテーブルで情報が共有されることはない。また、①と②の間に新たな情報提供はいるので意見はばらけるのではないかと。

●第一討議会テーマ統一

原島) テーマはディスカッション①②で、「市民誰もが集い、調布らしくにぎわいのある場所にするにはどうしたらいいでしょうか?」に統一します。

●タイムスケジュールについて

増田) ディスカッション①と②の間に席移動及び休憩が 10 分あるが、このうち 5 分をディスカッション①に充て、ディスカッション①を振り返る時間を設けてもいいのでは。

阿部) ディスカッション②の自己紹介に充てられている時間で、名前程度の簡単な自己紹介に留めて、ホスト中心に振り返れば大丈夫。

原島) 情報提供のあと質疑応答必要ではないか。

小峯) 討議会の流れから外れた質問が出る可能性とスケジュールがタイトなので難しい。

原島) では、

13:35 本日の流れ・ワールドカフェの説明

質疑応答は削除

13:45 情報提供①

14:20 ディスカッション①

20分 自己紹介(5分)、ホストの決定(3分)、討議

05分 移動

15分 討議

05分 移動

15分 討議

15:20 席移動・休憩

15:30 ディスカッション②の説明

15:40 情報提供②

16:00 ディスカッション②

で、以降は資料の「当日スケジュール」に沿う形にします。

●第一討議会情報提供②について

- ・担当の安藤運営専務より現在の進捗状況の説明。
- ・全国の鉄道敷地の利用状況概略及び、笹塚と世田谷の事例を、パワーポイントを使用して紹介予定。

A.K) ここ 10 年ほどの跡地利用状況の概略も紹介できるといい。

阿部) 事例紹介の際、地域の人がどう絡んでるかも紹介できるといい。

小峯) 行政との談話程度でも十分では。

他の委員の方も、全国の事例をインターネットで調べて、安藤運営専務に送ってあげてください。

④ 第2討議会について

第1～第2へのつながりが重要ですので、MLで添付しました「第1～第3討議会の流れ」の赤字部分を皆さんで議論したいと思います。

原島) 第一討議会と第二討議会のつながりがしっくりこないので今回議事にあげさせて頂いた。

A.K) 案を出した私自身にも気持ち悪さはある。

最後の提言書をどのような形にするかを前提に考えた結果、第一討議会と第三討議会の間がこのような形になっただけ。第三討議会の提言書部分において理解を得るためには、第二討議会参加市民の方へのハードルは上がる。

●第二討議会テーマ①変更

原島) 実行委員会としての第二討議会の目的である、「ヒト」につなげていきたい。前回、「団体」が直球過ぎるということで「行政に頼らずに～」と考えてきた。

A.K) 「市民主体で」などは。

原島) では、「第一討議会で皆さんから出たアイデアを、市民自らの手で実現するには、どのような仕組みがよいでしょうか？」に変更します。

●第二討議会の進め方について

小峯) こういうふうにまとめたいのでこういうふうに話してください、というのはアイデアが制限されてよくない。

A.K) ただ、実行委員会として提言書というゴールがある以上、多少のバイアスがかかる。

長谷川) 第一討議会で出た意見がほとんど叶わない中で、第二討議会でいきなり市民主体の維持管理となると、そのギャップを埋めるのは難しい。

A.K) 当然、現実的な制約の部分はきちんと伝えないといけない。

第一討議会で出た意見を上位から順に選ぶのか、提言しやすいものを選ぶのか、第一討議会を受けて実行委員会はこう考えましたと出すのかは、実行委員会の考え方次第。

小峯) 自分の意見がどうなるのか、と思う人は必ずいる。

長谷川) 提言と出したい部分と、アイデアとしての部分、両方を盛り込めばいいのでは。

小峯) 私が個人で進めている協議会がその頃には動き出していると思うので、情報提供のような形で、こういうふうに行政に働きかけていく、という例示はできるかもしれない。

A.K) 自分は縦軸にアイデアの属性、横軸に対応する団体のように考えていたが。

原島) 属性というよりも、具体的なほうが討議しやすいのではないか。投票上位 5 つを実現するためにはどうしたらいいか、のような。

A.K) 5 つに選ぶ時点で、どのような団体が当てはまるか、どのような提言になるかまで実行委員会で考えておく必要がある。

結局の所、どのような提言書にするかが定まらないとこの部分は決まらないのでは。

⑤ 役割分担、備品リストの確認

・時間の都合上割愛。

⑥ 第1 討議会当日資料の確認

・時間の都合上割愛。

⑦ 第1、第2、第3 討議会の出欠確認

・時間の都合上割愛。

⑧ その他

●ホームページコメントについて

・今回は谷口副実行委員長。

・締切は 10 月 9 日頃まで。

5. 報告事項

—

6. 次回実行委員会開催日の決定

日時： 2012年10月16日(火) 19:30より

場所： 調布市文化会館たづくり 11階 1103学習室

7. 閉会挨拶

—